

久留米市美術館開館記念事業

石橋文化センター

ミュージアムクリスマス

期間

2016年12月23日(金・祝)～25日(日)

会場

石橋文化センター / 久留米市美術館 / 石橋正二郎記念館

ライトアップ&イルミネーション

12月23日(金・祝)～25日(日) 17:00～19:30

正門～美術館周辺の「メモリアルゾーン」をライトアップ&イルミネーション。
「楽しみと幸福の時間。」をお過ごしください。

メッセージキャンドル 12月23日(金・祝)のみ

キャンドルにメッセージを書き、ペリカン噴水の周りに灯します 先着100名(無料)



美術館延長開館

12月23日(金・祝) 19:00迄開館(入場は18:30まで)

久留米市美術館本館2階「九州洋画」展及び石橋正二郎記念館を延長開館

こども映画会

「シャーロットのおくりもの」

(C)2006 by Paramount Pictures. All Rights Reserved.

クリスマスのハムになる宿命の子ブタを、クモが愛情を込めて守ろうとするファンタジー。全世界で4500万部を売り上げたE.B.ホワイトの同名原作を映画化。春の大雨が降った夜、農家を営むエラブル家に11匹の子ブタが生まれた。ところが母ブタの乳は10個しかなく、最後に生まれた小さな子は母の胸に抱かれることすらできない。エラブル家の娘のファーンはその1匹をウィルバーと名付け、まるで母親のように育て始める。やがてウィルバーは、様々な動物が住む向かいのザッカーマン農場に預けられることになった。夜、どこからかウィルバーに話しかける声が聞こえてきた。声の主はクモのシャーロットだった。ウィルバーとシャーロットは大の仲良しになる。しかし、春に生まれた子ブタは、クリスマスのハムになる宿命にあった。シャーロットは驚くべき方法でウィルバーを救おうとする。

12月23日(金・祝) [開場]12:30 [開演]13:00～14:45

会場 石橋正二郎記念館多目的ルーム2

定員 50名(先着順) *お子様に風船プレゼント

入場方法 久留米市美術館または石橋正二郎記念館の入館券が必要。中学生以下は無料



ミュージアムコンサート

新たに開館した石橋正二郎記念館で馴染みのあるクラシック曲やクリスマス曲をお楽しみ下さい。

12/24
(土)

田村 朋弘 Cello

荒牧 清香 Violin

戸田 友紀子 Piano



12/25
(日)

緒方 愛子 Violin

壇 遼 Guitar



時間 [開場]12:30 [開演]13:00～13:40

会場 石橋正二郎記念館2階ロビー

入場方法 久留米市美術館または石橋正二郎記念館の入館券が必要。中学生以下は無料



久留米市立中央図書館

入場料:無料

クリスマス会 12月18日(日) 13:30~15:00

人形劇、大型絵本読み聞かせなど

シネマ 12月18日(日) 14:00~ • 12月25日(日) 14:00~

「紅白が生まれた日」2015年/日本/カラー 空想特撮シネマ「ウルトラQ」

久留米市美術館開館記念展

「2016ふたたび久留米からはじまる。九州洋画」(本館2階)

入場料:一般1000円(800円)/シニア700円(500円)/大高生500円(400円)/中学生以下無料
*()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上

九州に生まれた、あるいは九州にゆかりの65名の洋画家たちの作品約110点によって、明治から現代に受けつがれる洋画の流れをたどる展覧会。明治初期の百武兼行(佐賀)、曾山幸彦(鹿児島)、中期の黒田清輝(鹿児島)、藤島武二(鹿児島)、岡田三郎助(佐賀)、和田英作(鹿児島)、その後青木繁(福岡)、坂本繁二郎(福岡)、児島善三郎(福岡)、海老原喜之助(鹿児島)、瑛九(宮崎)らがつづく。この展覧会では、彼らの作品を通して、九州の豊かな文化力と魅力を伝えます。

瑛九「ブーケ(花束)」1959年 宮崎県立美術館蔵▶



「九州をあそぼう ダンボールアート遊園地 in くるめ」(本館1階)

入場料:3歳以上500円

久留米市美術館にダンボールの遊園地がやってくる。タイヤのゲートをくぐると、みんなを待っているのは山笠のめいろや阿蘇山のすべり台。楽しく遊びながら九州をぐるっとひと回りしてみよう。スタンプラリーもあるよ。

◀佐賀 竪穴式住居すべり台

会期 2016年11月19日(土)~2017年1月22日(日)

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)ただし12/23のみ19:00迄開館

石橋正二郎記念館

入館料:一般/シニア/大高生300円

石橋正二郎記念館は、石橋文化センター開館60周年を迎えた2016年11月に、石橋美術館別館を改修し、公益財団法人石橋財団より久留米市に寄贈されたものです。石橋正二郎は生涯を通じて、故郷である福岡県久留米市の発展に尽くしました。郷里の発展と文化振興を願い建設した石橋文化センターは、1956年の開館当初から多くの人々に親しまれるとともに、時代の要請に応じてその姿を変えてきました。当記念館では、その芸術文化の拠点としての変遷と、石橋正二郎の歩みやひととなりを伝える様々な資料を紹介しています。



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

TEL 0942-33-2271 FAX 0942-39-7837

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015 ■営業時間:9:00~17:00 ■休館日:月曜日(祝日・振替休日は開館)

主催:公益財団法人久留米文化振興会・久留米市美術館